

生活科学学習指導案

指導者 森 保

1. 日時 平成14年9月20日(金) 第5校時(14:00～14:45)
2. 学年・組 第1学年3組(男子20名,女子20名)
3. 単元名 「あさがおの種をおくろよ!来年の1年生に!」
4. 単元について

本単元は学習指導要領(1)学校と生活,(6)「自然や物を使った遊び」をふまえ,設定したものである。来年の1年生におくるあさがおの種を入れる箱づくりを通して,学校生活をよりよくしていこうとする意欲をもつとともに,身の回りの物を使って自分なりに考えたり,工夫したりして,自分の思いを表現できるようになることをねらいとしている。

1年生のこの時期の子どもたちにとって,学校という集団生活に慣れながら,自らが何事に対しても主体的に働きかけようとする姿勢を育てることは大切なことである。それ故,いろんな先生や友達,異学年の子どもたちと交流すること,積極的にかかわっていききたいという意欲をもつこと,自分なりのこだわりや友達の意見を参考にすることを通して,自分の思いや願いを明確にもち,自分なりの課題を見つけ解決することなどは,これからの学習をすすめていく上で大切なことだと考える。

そこで本単元では,来年の1年生におくるあさがおの種を入れる箱づくりを通して,自分なりのこだわりや友達の意見を参考に活動をしすすめていく態度の基礎を養いつつ,異学年の友達とのかかわりを深め,さらに安心して意欲的に学校生活をおくることができるようにしたいと考える。

本学級の子どもたちは,1学期のはじめから2年生と日常的に手紙のやりとりをしたりしてかかわりを深めている。休み時間とともに遊ぶ姿も見られ,また授業時間の中でも何かわからないことがあれば,2年生に聞いてみたいなあという発言も聞かれる。2年生とのかかわりを通して安心して楽しく学校生活をおくることのできるよさを感じ,来年は,自分たちが今の2年生のように,1年生にかかわっていかねばならないこと,かかわっていききたいという思いや願いをもっている。また,1学期から今まで大切に育ててきたあさがおも色あせ,種ができはじめている。大切なあさがおの種をどうしてあげるのが一番いいのか,その思いや願いには具体的なものから漠然としたものまで様々であるが,だれかにおくって喜んでほしいという思いや願いは共通に見られた。そこでそれらの思いや願いを大切に,来年の1年生におくるあさがおの種の箱づくりの活動を設定した。

指導に当たっては,「1年生に喜んでもらえるためにどんな箱をつくれればいいのか」という点について振り返らせ,「きれいな箱をつくりたいな」「楽しい箱をつくりたいな」という思いや願いを明確にもつことができるようにする。さらに,その思いや願いを維持するために,授業のはじめには今日の活動のめあてを確認し,目的意識をもって活動にはいることができるようにするとともに,授業の終わりには学習カードに今日の成果や感じたことを書かせることで,自分自身のがんばりを自覚させるようにする。

また,学習カードや活動から見られた一人一人の工夫を紹介し,相互交流させることで箱づくりの工夫に関する思考面の深まりを促し,より一層自らの思いや願いを深めることができるようにする。

5. 単元の目標

【生活への関心・意欲・態度】

- ・来年の1年生に対する思いや願いをもって箱づくりを行うことができる。
- ・箱づくりの工夫を出しあうことで,友達との交流のよさを感じることができる。

【活動や体験についての思考・表現】

- ・箱づくりを通して気付いたことや感じたことを,自分なりに表現することができる。
- ・種入れの箱を自分なりに工夫してつくることができる。

【身近な環境や自分自身への気付き】

- ・友達のよさや自分との違いなどに気付いている。
- ・安全な道具の使い方がわかっている。

6. 指導計画(全7時間 本時 第2次 第4時)

第1次 あさがおの種をどうしよう	1時間
第2次 あさがおの種入れをつくろう	5時間
第3次 お手紙を書こう	1時間

7. 本時の学習

(1) 本時の目標

箱づくりに意欲的に取り組み工夫することができるとともに,自分や友達のよさに気付くことができる。

(2) 展開

学 習 活 動	支 援
1. 前時までの活動を振り返り,本時の活動への意欲をもつ。	前時の子どもたちの様子を紹介し,どのような工夫をしているのか考えさせることで,友達のよさに気付かせるとともに,本時の箱づくりのめあてをもつことができるようにする。 道具の使い方,材料の説明を行う。 : プロジェクター : 子どもの気付きの掲示表
2. あさがおの種の箱づくりをする。	机間巡視を行い,自分なりに工夫している姿,集中している姿を称賛し,さらに活動への意欲を高めることができるようにする。 ・材料,しかけ,かざり 活動に行き詰まった場合,友達の活動を参考にさせ,活動を促すようにする。 子どもたちのがんばりをデジタルカメラで記録し,次時に相互評価できるようにする。
3. 本時の学習を振り返る。	本時で意欲的に活動していた子ども,よく工夫できていた子どもを取り上げ称賛し,そのよさに気付かせる。 今日の箱づくりで工夫したこと,うまくいったこと,感じたことを振り返らせ,今日の箱づくりの成果を感じさせる。